

# ふるさとづくり

なかのしま

Nakanoshima

第5号  
2010.12.27

編集・発行／長岡市中之島地域  
ふるさと創生事業実行委員会



## 事業 その1 伝統行事体験事業

6月5日(土)～6月7日(月)、大凧合戦会場に市民観覧席を設置しました。さらに6月7日(月)に中之島中学校2年生が地絡めに初挑戦し、11月13日(土)に中之島中学校の3年生がグラウンドで凧揚げに挑戦しました。……………2P

## 事業 その2 大口れんこん収穫体験ツアー

9月25日(土)、中之島の特産品「大口れんこん」の収穫体験を開催しました。昼食には、採れたて新鮮な大口れんこんを使った料理を、お腹いっぱいいただきました。……………4P

## 事業 その3 なかのしま探検隊

7月25日(日)、11月21日(日)の両日、中之島の名所や今まで知らなかった中之島の魅力を知ってもらおうと、中之島めぐりを開催しました。……………5P

## 事業 その4 中之島ふるさとかるたリニューアルプロジェクト

現在の中之島ふるさとかるたの一部を修正し、リニューアルした中之島ふるさとかるたを作成します。……………6P

「笹だんごづくりに初挑戦!」上手にできたかな?

11月21日(日)【なかのしま探検隊】

事業その1  
伝統行事体験事業

6月5日(土)から7日(月)の3日間、刈谷田川堤防で、350年以上の歴史を持つ伝統の「長岡市中之島・見附市今町大風合戦」が繰り広げられました。

中之島地域ふるさと創生事業実行委員会では、今年も大風合戦の醍醐味と迫力を大勢の皆さんから体感してもらおうと、刈谷田川堤防上に市民観覧席を設置。3日間



市民観覧席は、連日大盛況でした

で500人以上の皆さんからご利用いただきました。

市民観覧席では、中之島地域の特産品をPRしようと、笹団子や凧もなかななどを販売しました。市民観覧席の利用者をはじめ、多くの来場者が立ち寄り、購入されていました。

5日(土)には、凧組の方が、大空を優雅に舞っている大風の糸



地絡めに初挑戦! 力いっぱい糸を引き合いました

を市民観覧席の前まで持ってきてくださり、市民観覧席の利用者の皆さんに引いてもらうサプライズ体験がありました。小さいお子さんをはじめ、多くの皆さんが糸を持ち、感触を味わい、凧組の粋な計らいにとっても喜んでいました。

7日(月)には、中之島中学校2年生が、地上であらかじめ凧を絡めて引き合う「地絡め」に初挑戦。生徒たちは両岸に分かれてスタンバイし、「中之島中VS中之島中」の地絡めを2回戦行い、結果は1勝1敗となりました。

凧組の皆さんのアドバイスを受けながら、係員の合図とともに、糸を手にて堤防を走り回り、息を合わせて糸を引き合い、初体験の地絡めを満喫していました。

大風合戦期間中に、大風合戦会場ではできない地絡め体験。この貴重な体験に、多くの生徒から、



勇壮な大風の応援パネル



力を合わせて全力疾走！微風に負けずに舞い揚がせ



「楽しかった。」という声が聞こえ、見附市の今町中学校もこの地絡め体験を行っていることから、「今度は今町中と対戦したい。」という声もありました。

また、地域伝統の大凧に、親しみと関心をもってもらおうと、中之島中学校に白凧を配布。生徒たちは夏休みを利用して、白凧に自分たちで考えた絵を描き、完成した大凧は、9月4日（土）に行われた運動会の応援パネルとして登場しました。

さらに、その大凧を利用して、11月13日（土）の総合学習の時間に、授業参観に来校された保護者が見守る中、3年生全員で凧揚げ体験を行いました。

当日は微風で、コンディションは決してよくありませんでしたが、生徒たちは凧組の皆さんから指導を受けながら、声を掛け合い、笑顔で何度もグラウンドを駆け巡り、凧を操り、秋空の下での大凧揚げ体験を存分に楽しんでいました。



凧の仕込みを手伝う生徒たち



冷静かつ巧みに凧を操る生徒たち

事業その2

大口れんこん収穫体験ツアー

9月25日(土)、中之島の特産品「大口れんこん」の魅力を、目で見て、舌で味わって、肌で感じてもらうようと、「大口れんこん収穫体験ツアー」を開催し、県内外から27名の参加をいただきました。

大口れんこんの収穫体験では、参加者全員が「胴長」と「手袋」を身に着け、泥に悪戦苦闘しながら、ゆつくりとれんこん田を進み、生産組合の皆さんから指導を受けながら、れんこん掘りを楽しみました。そして、慣れない手つきな



苦勞の末に掘り当てたれんこんは、丸々太ってとてもおいしそうです



茎をストロー代わりに象鼻杯体験。お味はいかが？

がらも、立派に実ったれんこんを掘り出すと、満面の笑みで喜んでいました。また、予想外の「大物」に驚かされている方もおられました。

昼食では、れんこんチップスや梅漬けなど、採れたての大口れんこんを使った絶品料理の数々を、新米コシヒカリのおにぎりとともにお腹いっぱいいただきました。また、

参加者の前で調理した「焼きれんこん」は、香ばしい醤油の香り、さくさくとした食感が最高で、大好評でした。

れんこん料理教室では、大口れんこんを使ったいろいろなレシピが紹介されるとともに、参加者の皆さんも一緒に採れたて大口れんこんの皮をむき、切って、茹でて、



料理教室では、子供たちも下ごしらえのお手伝い

れんこんのキムチ和えなどを作りました。

他にも、はさみを使って蓮の実



絶品のれんこん料理に箸が止まりません

を花の形に変身させる「蓮の実アート」や、蓮の葉に飲み物を注ぎ、茎をストロー代わりにして飲む象鼻杯体験、れんこん田での乗舟体験など、大口れんこんの魅力存分に味わった参加者の皆さんからは、「とても楽しかった。また参加したい。」「れんこん料理がとてもおいしかった。れんこんがより身近な食材になりそう。」「ますます大口れんこんのファンになった。調理方法も勉強になった。」「れんこん生産の苦勞がよくわかった。」という声を多くいただきました。

事業その3  
**なかのしま探検隊**



「なかのしま探検隊」隊員証授与。今日は中之島の魅力を満喫します！

7月25日（日）と11月21日（日）の両日、「中之島の魅力と宝」を発見していただくことを目的に、「なかのしま探検隊」を開催。安全・安心・おいしい農産物、特産物を作っている農家などを訪問しました。

7月25日（日）は、中之島地域にお住まいの皆さんを対象に募集

し、20名の参加をいただき、小松菜を栽培している農家など4ヶ所を訪問。11月21日（日）は、長岡市内にお住まいの皆さんを対象に募集し、14名の参加をいただき、大沼もち加工組合など3ヶ所を訪問しました。

訪れた先々では、農家の方や担当の方から、栽培方法や特長、調理方法などをご説明いた

だき、参加者の皆さんは、興味深そうに聞き入っていました。

また、きのこや小松菜の収穫体験、おまんじゅうづくり体験も行いました。

収穫体験では、立派に育った新鮮なきのこや小松菜をたくさん収穫させていただきました。大沼もち加工組合では、組合の皆さんから手ほどきを受けながら、米粉を使ったおまんじゅうづくりや笹



きくらげいっぱい採ったよ♪

だんごづくりなどを体験しました。

参加者の皆さんにとって、はじめて訪れる場所、はじめて体験することが多かった今回のなかのしま探検隊。「普段は行けない場所を訪れ、初体験もたくさんできて良かった。」「生産者の方の大変さがよくわかった。」「中之島のことがいろいろと勉強になった。」「はじめてのことばかりで楽しかった。また参加したい。」という声を多くいただきました。

**「なかのしま探検隊」で訪れた場所は次のとおりです。**

**JAカントリーエレベーター 7月25日**

中之島のおいしいお米を乾燥・調製・貯蔵するカントリーエレベーター。眼下に広がる「緑のじゅうたん」など展望台からの景色は、まさに絶景でした。

**れんこん田 7月25日**

「おいちゃん暑いね」 中之島の特産品「大口れんこん」が栽培されているれんこん田では、日傘代わりになりそう大きな蓮の葉が見頃でした。



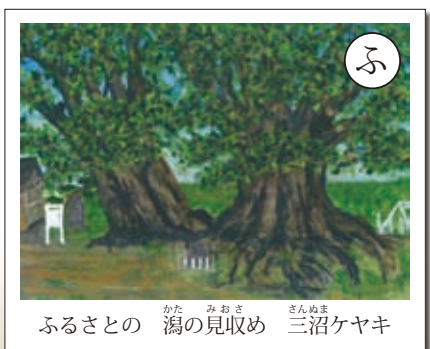
新築したばかりの大沼もち加工組合では、おまんじゅうづくりなどを体験しました。参加者の皆さんがつくったおまんじゅうをその場で蒸かしていただき、熱々のうちにおいしくいただきました。



大きく育ったおいしそうないたけや生きくらげを、バックにたっぷり詰めさせていただきました。生きくらげを初めて目にする方も多かったようです。

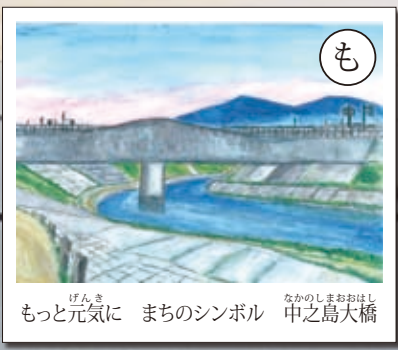


ハウスの中いっばいに育った鮮度抜群の小松菜を、みんなで収穫させていただきました。その場で「生」で食べた小松菜は、瑞々しく美味でした。



ふ  
今回、B3サイズ程の大判タイプのかるたも作成しました。完成しましたら、支所からのお知らせなどで周知します。なお、作成数量の都合上、当面は「貸出し」の予定です。

中之島つくりう塾が作成された、現在の「中之島ふるさとかるた」の読み句と絵札の一部を修正し、リニューアルした「中之島ふるさとかるた」を作成中です。



事業その4  
中之島ふるさとかるたリニューアルプロジェクト